

心
す
が
す
が
し
く
清
流
の
ご
と
く



月例講話「にこありの会」 ～月に一回、こころの充電。

第1日曜・午後1時より社務所にて開催

※ 開催日は4ページの行事予定をご覧ください。

申込不要、ご参加自由。茶菓・資料代500円

月例講話「名典を読む」

あの世の視点からモノを見ますと、この世における物事の本質が浮き上がって見えてきます。心霊（神霊）研究の名典をやさしく読みながら、善きことたまのお話をいたします。

座談会「今月の“これ”」

ご参加の皆さまに、時事問題や新聞・書籍などから「これ読んで!」「この話を伝えたい!」という日常の「気づき」をそれぞれお持ち寄りいただき発表していただきます。

期待せず、気軽に、楽しみにご参加ください。

ニコニコと、ありがとう。



こ と た ま 通 信

発行
鴻徳神社社務所

〒273-0122
千葉県鎌ヶ谷市
東初富1丁目10番28号
TEL/FAX 047-444-6750
www.kotoku-jinja.jp



「あなたのオーラが見える」「守護霊を教えよう」と実際に見えるならばまだしも、お金を巻き上げるだけの悪質な霊感商法が多発しているそう

です。また、金運をつける方法、悪霊を退治する方法、大神界が：云々。そんな本の新聞広告が幅をきかせるようになってきました。真つ当な内容であれば良いのですが、どうしても胡散臭さを感じずにはいられないというのが一般的な感覚ではないでしょうか。

私自身、何かと神仏に関わる方と接するのですが、よく薦められる本の中にも金を儲ける方法、霊能力をつける方法、賭けごとで成功するパワーをくれる神社

紹介など、よくもここまで「現世利益」に執着できるものかと苦笑しつつむしろ感心してしまうほどです。

「霊感がありますか？」という質問を受けることもあります。だからそれがどうしたと私は聞きたい。何が「霊感」なのか。霊が見え音が聞こえるから霊感なのでしょうか。本当の霊感とは全ての人を持つ能力で、「こころの声を聞くこと」とこそが究極の霊感であると私は声を大にして言いたいです。

だから物理的に見える見えないというだけで霊感があるのなのと騒ぐことには何の意味も無いですし、本当に霊能力を持った人も実際に存在しますが、これは生まれ持った素質であり、興味本位に霊能が身につくものではありません。

仮に、そういう特殊能力を持った人がいたとしても「わたしを診て下さい！」

「霊力のある石を売って下さい！」などと飛びつく必要ありません。ただ周囲に振り回されているだけで、自分というものが存在していない。

いわゆる開運グッズなど、メディアでちよつと話題になれば何でも飛びついて鵜呑みにしてしまふ。主体性のないマインドコントロールです。メディアで何か語られていてもそれを判断するのは自分です。あくまで自分のところに符合したものを選別する必要があります。

人の話を聞くことは大切です、それが良いコトバであれば是非吸収して自身の日常に役立てたいものです。しかし、例えば選択肢に迷ったとしても最終的に決断するのは自分自身なのです。

何でも他者にすがりつくのではなく、自分の「こころの声を聞く」という訓練を心掛けてみてはいかがでしょうか。

こころの声が聞こえたから人をあやめてもよい。こうなっては困るのですが、例えば低俗なテレビ番組は見ない、など日常生活から自分の波長を下げるものを出るだけ遠ざけ、美しいもの善いものに触れる生活を心がけていけば、自然とネガティブなこころの声は聞こえなくなります。テレビ番組ひとつをとっても、「選ぶ」ということは大切です。

さて、人間のこころは潜在意識を通して神さま（ご先祖さまなど多くのスピリット）と繋がっています。こころの声は自分の内側から湧き出てくる生命力であると同時に、神さまからのメッセージが流れ込んできているのです。

このメッセージをより純粋に受け取るためにも、忙しい日常の中で周囲の雑音から離れて、テレビを消し雑誌を閉じてゆっくり深く呼吸をしながら身体の力を

すつかり抜き、沈黙思考する時間を数分でも取る必要があります。これを寺では座禅、神社では鎮魂といいますが、キッチンでも仕事帰りの電車でも、どこでも構いません。黙って目を閉じます。雑念が浮かんでもよく、そのまま泳がせる内に、空っぽになる瞬間が訪れます。

こういう静寂の時間を持つうちにフトした瞬間ところに何か衝動のようなものが浮かぶのを感じますが、これがこのころの声です。それは仕事の名案だったり、判断のヒントかもしれない。よし悪しを判断した上で出来るだけ素直にこのころの声に従ってみますと、物事がうまく進んだりするものです。

頼るべきは、自分そのものなのです。自分のところこそが道しるべであることに気づけば、これほど心強いものはありません。

平成十九年 年間行事

五月 月例講話会

(六日 午後一時)

六月 月例講話会

(三日 午後一時)

夏越大祓

月例講話会

(三十日 午後一時)

八月 月例講話会

(五日 午後一時)



◆こうとくじんしゃ 鴻徳神社について◆

鴻徳神社の御祭神である御食津大神、五穀大明神(五穀さま)は災厄を払い智慧と福德を授ける靈験あらたかな御神霊であります。皆様の厚いご信心により大神様のご神徳に浴されまます様祈念いたします。

千葉県鎌ヶ谷市東初富一丁目十番二十八号
TEL・FAX 047(444)6750

<http://www.kotoku-jinja.jp/>

ご祈願・昇殿参拝を申し受けます。
お気軽にご相談ください。
初宮詣、厄祓、家内安全、交通安全
心願成就、自動車祓
地鎮祭、ご自宅神棚設置、他

(御神札・御守は随時授与)